

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL http://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 具美
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長 (氏名) 牧野 信之 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,337	7.1	488	10.2	506	9.5	337	△0.7
29年3月期第2四半期	6,849	3.1	443	△9.6	462	△9.2	339	6.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 371百万円 (11.9%) 29年3月期第2四半期 332百万円 (4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	55.90	54.91
29年3月期第2四半期	54.76	54.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	13,585	9,680	70.5	1,586.92
29年3月期	13,381	9,551	70.8	1,569.39

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 9,579百万円 29年3月期 9,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	44.00	44.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	6.6	1,300	4.1	1,330	3.4	880	△1.7	145.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	7,636,368株	29年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,599,785株	29年3月期	1,599,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	6,036,594株	29年3月期2Q	6,206,333株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、企業収益の改善、株価の持ち直し、雇用や所得環境の改善が続いていることから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国における保護主義的な政策動向や、中東やアジアでの地政学的リスクの高まり等から、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、AIやIoTといった先端技術を活用した新しいサービスに関連する技術者への需要や、競争力強化や省力化へのIT投資等が増加するなど、良好な環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは市場の需要に応えるため、新卒採用者を実際の業務に投入するなど戦力化をすすめる一方で、外部のビジネスパートナーを積極的に活用し受注機会損失の回避に努めてまいりました。また、利益率の向上を目指し受注単価改善に向けた交渉を継続的に行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,337百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益につきましては488百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益につきましては506百万円（前年同期比9.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては337百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

半導体設計や組み込みソフトウェア開発業務に関しては引き続き車載関連分野が好調で、課題となっていた技術者不足をビジネスパートナーを活用することで対応できたことなどにより、売上高は1,535百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は379百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

既存の開発業務は堅調で稼働率も高いものの、パッケージソフトウェアの開発を並行して行っているため、新規の受注に投入できる技術者が不足していることなどにより、売上高は1,918百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は250百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

安定した需要に支えられ引き続き規模が拡大しております。なお当四半期より新卒採用者が順次業務を開始しておりますが、業績への貢献にはやや時間がかかることなどから、売上高は3,884百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は690百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、13,585百万円と前連結会計年度末に比べ203百万円の増加となりました。これは主に、流動資産の有価証券が398百万円、仕掛品が114百万円、無形固定資産に含まれるソフトウェア仮勘定が125百万円それぞれ増加した一方で、流動資産の現金及び預金が36百万円、受取手形及び売掛金が176百万円、固定資産の投資有価証券が174百万円、投資その他の資産のその他に含まれる会員権25百万円が、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、3,904百万円と前連結会計年度末に比べ74百万円の増加となりました。これは主に流動負債において、流動負債のその他流動負債に含まれる未払費用が124百万円、預り金が85百万円それぞれ増加した一方で、買掛金が27百万円、未払法人税等が106百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、9,680百万円と前連結会計年度末に比べ128百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上で337百万円、その他有価証券評価差額金が21百万円、新株予約権が25百万円それぞれ増加した一方で、配当金の支払いにより265百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し4,126百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は570百万円（前年同期比41百万円の獲得増）となりましたが、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上511百万円や売上債権の減少176百万円、未払消費税等の増加31百万円などといった増加要因があった一方で、たな卸資産の増加111百万円、法人税等の支払額262百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は360百万円（前年同期比107百万円の支出増）となりましたが、これは主に有価証券の取得による支出1,400百万円や無形固定資産の取得による支出152百万円、投資有価証券の取得による支出411百万円などといった減少要因があった一方で、有価証券の償還による収入1,600百万円などといった増加要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は246百万円（前年同期比67百万円の支出減）となりましたが、これは主に短期借入金の増加20百万円の増加要因がある一方で、配当金の支払額263百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月2日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,363	4,326
受取手形及び売掛金	3,106	2,930
有価証券	500	898
商品	3	-
仕掛品	121	236
原材料及び貯蔵品	0	1
その他	555	563
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,650	8,955
固定資産		
有形固定資産	601	583
無形固定資産	218	334
投資その他の資産		
投資有価証券	3,366	3,192
その他	567	543
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	3,910	3,711
固定資産合計	4,730	4,630
資産合計	13,381	13,585
負債の部		
流動負債		
買掛金	213	186
短期借入金	40	60
未払法人税等	315	209
賞与引当金	919	948
工事損失引当金	2	3
その他	922	1,068
流動負債合計	2,413	2,476
固定負債		
退職給付に係る負債	1,146	1,176
資産除去債務	44	45
その他	224	205
固定負債合計	1,415	1,428
負債合計	3,829	3,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,636	1,636
利益剰余金	7,230	7,302
自己株式	△946	△946
株主資本合計	9,370	9,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276	298
退職給付に係る調整累計額	△173	△160
その他の包括利益累計額合計	103	137
新株予約権	72	98
非支配株主持分	5	3
純資産合計	9,551	9,680
負債純資産合計	13,381	13,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,849	7,337
売上原価	5,470	5,856
売上総利益	1,378	1,481
販売費及び一般管理費	934	992
営業利益	443	488
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	5	3
その他	4	5
営業外収益合計	20	18
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	0	-
その他	0	-
営業外費用合計	1	0
経常利益	462	506
特別利益		
投資有価証券売却益	51	-
受取保険金	-	4
特別利益合計	51	4
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	3	-
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	510	511
法人税等	169	173
四半期純利益	340	337
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	339	337

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	340	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	21
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	△8	33
四半期包括利益	332	371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	331	371
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	510	511
減価償却費	48	46
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	28
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38	48
受取利息及び受取配当金	△15	△12
支払利息	0	0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△51	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	288	176
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△148	△111
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14	△27
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31	31
その他	123	124
小計	765	817
利息及び配当金の受取額	17	15
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△254	△262
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	528	570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△699	△1,400
有価証券の償還による収入	1,000	1,600
有形固定資産の取得による支出	△5	△12
無形固定資産の取得による支出	△12	△152
投資有価証券の取得による支出	△613	△411
投資有価証券の売却による収入	99	—
その他	△22	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△252	△360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	100
短期借入金の返済による支出	△100	△80
自己株式の取得による支出	△97	△0
非支配株主への配当金の支払額	—	△2
配当金の支払額	△216	△263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313	△246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38	△36
現金及び現金同等物の期首残高	3,876	4,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,837	4,126

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,360	1,880	3,608	6,849
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	0	3
計	1,360	1,884	3,609	6,853
セグメント利益	319	217	636	1,173

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,173
セグメント間取引消去	52
全社費用(注)	△781
四半期連結損益計算書の営業利益	443

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,535	1,918	3,884	7,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	36	9	45
計	1,535	1,954	3,893	7,383
セグメント利益	379	250	690	1,319

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,319
セグメント間取引消去	53
全社費用(注)	△884
四半期連結損益計算書の営業利益	488

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。